

沿 革

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
明治時代	<p>23年 4月 私設消防組設置 組頭以下 35 名 腕用ポンプ 1 台</p> <p>27年 4月 公立宗谷照合組設置 組頭以下 105 名 腕用ポンプ 1 台 2 部制</p> <p>34年 5月 町制施行 宗谷消防組を稚内消防組と改称する</p> <p>39年 2月 声問一部設置 3 部制 組頭以下 130 名 腕用ポンプ 3 台</p> <p>44年 5月 稚内町大火 山火より延焼 752 戸焼失</p>		<p>末期 猿払消防組設置 (浜猿払)</p>
大正時代	<p>9年 1月 抜海一部設置 4 部制 組頭以下 155 名 腕用ポンプ 4 台</p> <p>12年 4月 クサンルー一部設置 5 部制 組頭以下 199 名 腕用ポンプ 5 台 声問・抜海分離 部落冠称 町内 3 部制</p> <p>12年 5月 沼川私設消防組設置 鈴木式ガソリンポンプ 1 台配置</p> <p>14年 5月 ガソリンポンプ 1 台配置</p>	<p>14年 10月 豊富私設消防組設置 腕用ポンプ 1 台配置</p>	<p>4年 1月 知来別消防組設置</p> <p>5年 猿払消防組 腕用ポンプ 1 台</p> <p>8年 知来別消防組 腕用ポンプ 1 台</p> <p>8年 10月 浅茅野・浜鬼志別消防組設置</p> <p>10年 7月 知来別大火 戸数不明</p> <p>11年 6月 鬼志別消防組設置 腕用ポンプ 1 台</p> <p>13年 1月 消防組設置 3 部制 組頭以下 92 名 腕用ポンプ 3 台</p>
昭和時代	<p>3年 8月 消防ポンプ自動車(ダッチ)1 台配置 機関係 1 名常備 貯水槽(54 m³) 6 基 地下式消火栓 21 基</p> <p>3年 10月 稚内町大火 681 戸焼失 死者 2 名</p> <p>5年 11月 稚内町大火 216 戸焼失</p> <p>6年 4月 常備消防部庁舎新築 木造 2 階建延べ 197 m² ポンプ自動車(レオ)1 台配置</p> <p>14年 3月 1 日午後 11 時 勇知原野 11 線 農業 吉原達雄方煙突部より出火 全焼 主人(48)妻(43)長女(21)長男(18) 次男(12)三女(9)三男(7)四女(4) の 8 人及び牛馬各 1 頭羊 8 頭豚 2 頭は何れも焼死</p> <p>14年 4月 勅令警防団令公布消防組廃止 稚内警防団発足 9ヶ分団 団長以下 470 名 常備員 14 名ポンプ自動車 3 台 ガソリンポンプ 3 台 腕用ポンプ 8 台 貯水槽 39ヶ所</p>	<p>元年 頃 兜沼私設自警団設立</p> <p>4年 5月 自警団消防組に組織改組</p> <p>6年 5月 豊富・兜沼公設消防組に昇格</p> <p>13年 8月 公認日曹消防組設立 腕用ポンプ 3 台</p> <p>14年 4月 消防組幌延村警防団と改編 幌延村に団本部設置 3分団(豊富) 4分団(兜沼) 5分団(日曹)となる</p>	<p>3年 8月 4 部制 組頭以下 122 名 ガソリンポンプ 2 台</p> <p>9年 4月 5 部制 組頭以下 180 名 ポンプ自動車 1 台配置</p> <p>14年 4月 警防団と改称 5ヶ分団 団長以下 220 名</p>

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
		15年 幌延村より分村 15年8月 豊富警防団と称する	14年12月 ソ連貨物船「インディギルガ号」 (4,000 t)暴風雪で浜鬼志別沖 合いのトド島付近で座礁転覆 死者 700 余名 村長の指揮下 警防団員全員が遺体の収容収 集並びに茶毘に付し長期 3 ケ 月余に亘るボランティア活動
	19年2月 日本警防協会会長より 火災現場功労表彰旗授与		21年6月 林野火災 2,648ha 焼失
	20年8月 終戦	22年1月 日曹消防団タービンポンプ配置	22年8月 消防組織法により猿払村消防団 組織改正
	22年6月 林野火災 843ha 焼失	22年10月 豊富地区貯水槽設置	団長1名 副団長2名にて消防 団本部編成
	22年6月 林野火災 1,111ha 焼失	22年12月 温泉で火災 旅館2戸民家3戸 計5戸焼失	8ケ分団 235名
	22年10月 稚内炭鉱ダイナマイト娯 爆事故 死者15名	22年12月 警防団消防団と改称	ガソリンポンプ1台
	23年3月 消防組織法施行	豊富消防団一豊富1分団・兜沼消 防団一兜沼分団・目梨分団 日曹 消防団	腕用ポンプ9台
	23年4月 稚内町消防団設置 常備員25名	25年3月 温泉で火災 旅館1戸 食堂1戸 民 家2戸 計4戸焼失	25年6月 浜猿払市街大火 30戸全焼
	23年5月 林野火災 1,681 ha 焼失	25年3月 豊富村3消防団装備ガソリンポン プ5台 腕用ポンプ5台	27年5月 林野火災 793ha 焼失
	24年4月 市制施行	25年4月 温泉2分団発足	27年5月 林野火災 528ha 焼失
	消防本部 消防署設置	27年5月 豊富地区ポンプ車配置	
	人員26名 ポンプ自動車6台消 防団9ケ分団 団長以下420名	27年9月 兜沼地区小型動力ポンプ配置	29年8月 ポンプ自動車3台 小型動力ポンプ5台 ガソリンポンプ1台
	25年4月 水槽付ポンプ車配置「流星」	28年5月 日本消防協会会長より5名の日曹消 防団員が水害救助で現場功労賞 授与	腕用ポンプ9台
	27年5月 林野火災 734 ha 焼失	28年8月 日曹地区ポンプ車配置	30年4月 分団機械整備により消防団条 例一部改正 定員163名
昭		29年4月 豊富消防団本部庁舎新築	31年6月 鬼志別文化劇場火災 8棟7戸全焼
和	30年3月 宗谷村稚内市に合併 消防団13ケ分団	32年5月 兜沼地区屋外消火栓設置	
時	35年3月 水槽付ポンプ車配置「彗星」	32年11月 日曹消防団本部庁舎新築	35年8月 知来別市街火災7棟焼失
代	35年6月 宝来3丁目水産加工場火災 渋田消防司令補 殉職 消防葬挙行	33年9月 豊富地区屋外消火栓設置	38年5月 鬼志別自衛隊演習地火災 1,501ha 焼失 豊里開拓地火 災4戸全焼1戸半焼 836ha 焼失
	36年5月 港4丁目消防本部・署庁舎新築 ブロック2階建593㎡	33年12月 兜沼消防団本部庁舎新築	
	37年10月 宝来1丁目北分遣所設置	34年1月 町制施行	44年5月 浜猿払市街火災3棟673㎡全焼
	39年7月 消防創設70周年 自治体消防創 設15周年記念式典挙行	35年10月 日本消防協会会長より竿頭授与	
	40年10月 稚内公園稚内霊苑内に消防殉職 功労者慰霊碑建立	36年5月 林野火災 893ha 焼失	
	41年6月 消防団本部庁舎新築(中央4) ブロック3階建336㎡	36年9月 温泉地区屋外消火栓設置	
	42年9月 政令指定による救急業務開始	42年8月 北海道消防協会会長より表彰旗授与	
	42年11月 北海道知事により消防団竿頭授 与	42年10月 3消防団を豊富消防団と組織替え 団員156名	
	42年11月 消防ポンプ自動車寄贈配置 「ライオンズ号」	豊富分団 兜沼分団 温泉分団 日 曹分団	
	42年12月 消防専用無線電話開設	45年3月 日曹小中学校火災 1,886㎡全焼	
	44年6月 第21回 北海道消防大会開催 参加人員1,950名		46年5月 鬼志別市街火災1棟408㎡全焼
	屈折梯子車配置(15m級)「昇竜」 救急車配置		
	45年11月 雪上車配置		
	46年2月 日本消防協会会長より消防団表彰 旗授与		

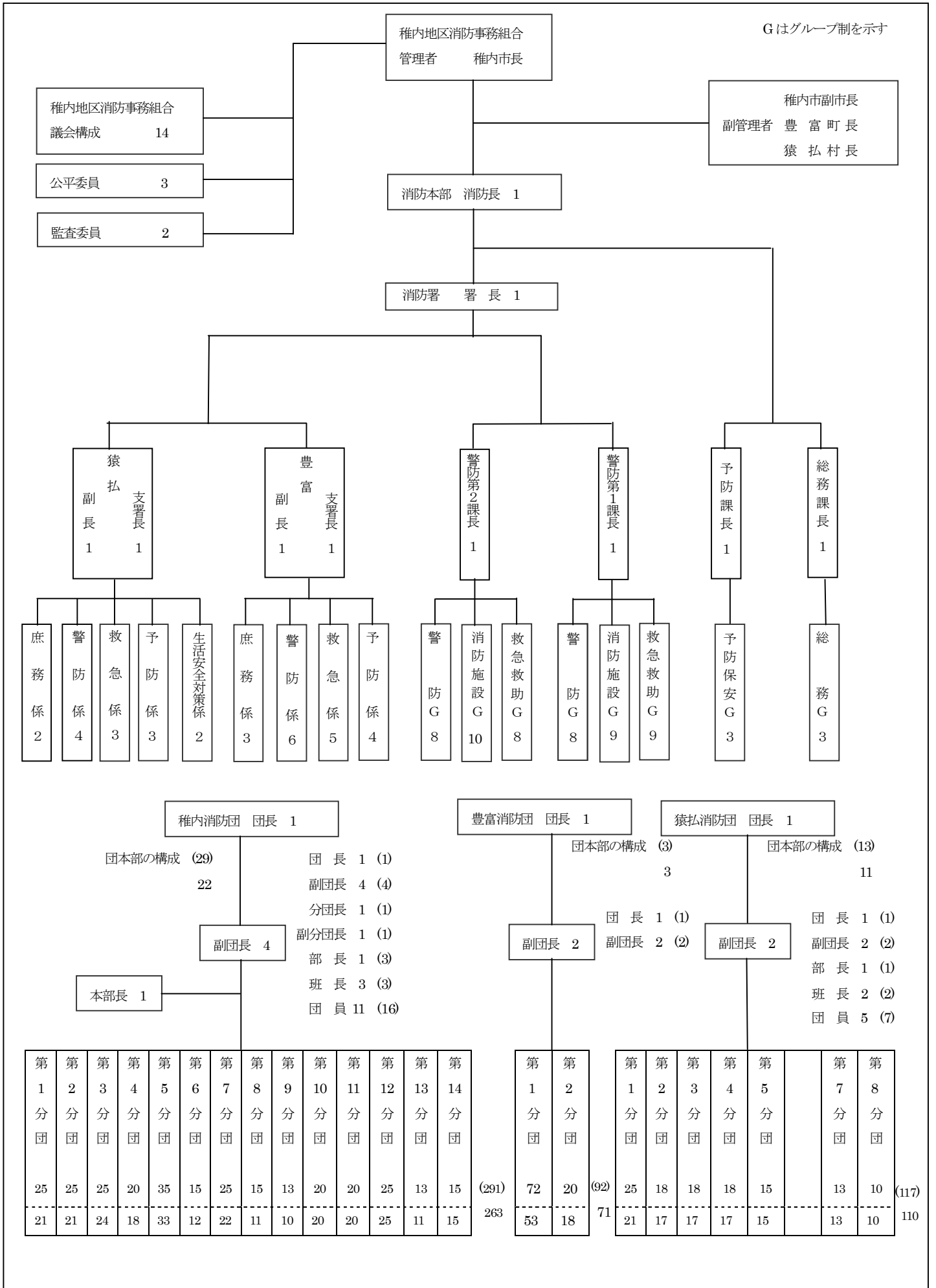
	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
	46年5月 市ごみ捨場より飛び火出火 林野火災発生3日間延焼 269.8h a 焼失		
	46年10月 化学車配置「双竜号」		
	47年3月 港5丁目消防本部・署庁舎新築 鉄筋コンクリート3階建て 946.59㎡	47年7月 日曹分団炭鉱閉山により廃止	
	47年12月 暴風雪により高圧鉄塔多数倒壊 送電線無数切断 5日間全市停電 ロウソク火に よる火災続発（発生4件 焼死 者1名）		
	48年3月 消防庁長官より竿頭授与	48年4月 消防署豊富支署設置	48年4月 消防署猿払支署設置
	48年4月 稚内地区消防事務組合発足 （稚内市・豊富町・猿払村）	48年5月 支署庁舎新築2階建鉄筋ブロッ ク323㎡	48年5月 鬼志別建物火災 住宅及び車庫 4棟671㎡全焼
	49年3月 恵比須2丁目北出張所新築 鉄筋 ブロック2階建128.25㎡	49年3月 マイクロ2B型救急車配置	48年11月 支署庁舎新築2階建鉄筋ブロッ ク289.18㎡
	50年2月 3B型救急車寄贈配置(損保協会)	49年6月 救急業務政令指定	
	51年3月 一斉指令装置開設		
	53年9月 自治体消防30周年組合 消防5 周年記念合同訓練大会 消防タンク車寄贈配置 (損保協会)「百竜号」	52年8月 消防指令車寄贈配置 (前田氏)	49年6月 救急業務政令指定 49年7月 消防団北海道消防協会長より竿 頭授与
昭 和 時 代	53年12月 本部 車庫増築132.75㎡	52年10月 消防専用無線電話開設	50年1月 無火災記録487日でストップ 51年7月 猿払地区原野火災発 1,120ha 焼失
	54年6月 3B型救急車寄贈配置 (稚内ライオンズクラブ)	54年5月 目梨別国有林火災29ha 焼失 (ヘリコプターによる空中散布)	53年5月 小石地区林野火災発生 国有林400a 焼失 (ヘリコプターによる空中散布)
	56年9月 消防ポンプ自動車配置「銀竜号」	54年11月 温泉地区建物火災(元湯館) 半焼 940㎡焼失	54年1月 狩別地区建物火災発生 牛舎全焼乳牛15頭焼死
	57年8月 消防本部指揮車配置 (稚内ライオンズクラブ)		55年9月 消防専用無線電話開設 57年4月 消防指令車配置
	57年10月 救助工作車配置 (電源照明付「飛竜号」)		58年6月 消防団北海道消防協会より 表彰旗授与
	59年10月 三節屈折梯子車配置 (25m級「宝竜号」)	59年1月 2B型救急車寄贈配置 (損保協会)	58年9月 大韓航空機墜落事件に伴う漂着 物捜索(オホーツク海岸一帯)
	61年10月 消防水槽車配置 (水10,000ℓ「大竜号」)	60年10月 消防水槽車配置(水10,000ℓ)	59年1月 芦野地区建物火災発生牛舎全焼 搾乳牛47頭焼死 昭和55年1月29日以来無火 災記録1,145日でストップ
	62年6月 連絡車配置	60年11月 車庫増築96.2㎡	59年10月 消防水槽車配置 (水10,000ℓ「巨龍」)
	62年7月 3B型救急車配置	62年10月 消防タンク車配置	60年11月 無火災記録540日でストップ
	63年5月 広報車配置	63年6月 指令車寄贈配置(豊富町建設協会)	
	63年9月 消防タンク車寄贈配置 (損保協会「金竜号」)	63年8月 小形動力ポンプ積載車配置	63年11月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)
	63年9月 2B型救急車寄贈配置 (日本消防協会)		

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
平成時代	元年 6月 訓練塔新設 (鉄管組立構造)		
	元年 6月 第41回北海道消防大会 開催 参加人員 3,300名		
	元年 10月 救急医療システム端末機設置	元年 10月 酪農地域消火栓設置 30基	
	元年 11月 指令車寄贈配置 (財団法人日本防火協会)		元年 11月 消防タンク車配置(水 3,000ℓ)
	2年 3月 消防庁長官より表彰旗授与 (消防本部 稚内消防団)	2年 8月 小型動力ポンプ付積載車配置	2年 10月 第8分団小型動力ポンプ付積載車配置
	2年 3月 消防緊急情報システム設備開設	2年 12月 酪農地域消火栓設置 30基	
	3年 2月 化学消防ポンプ車配置 (高圧ポンプ付「双竜号」)		3年 5月 自衛隊演習場内野火発生 600ha 焼失
	3年 9月 北海道防災総合訓練 末広5丁目臨海工業団地 参加機関15機関参加人員640名		3年 5月 庁舎内部一部改修
	4年 7月 消防本部指揮車配置 (稚内ライオンズクラブ一部寄贈)	4年 8月 小型動力ポンプ付積載車及び小型 動力ポンプ配置	3年 12月 小型動力ポンプ付積載車 5台配 置(防衛庁補助事業)
	4年 10月 女性消防団結成	4年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	3年 12月 第4分団・第7分団詰所 改築 81㎡
	5年 3月 水槽付消防ポンプ自動車配置 「さくら号」 (防衛庁補助事業 水 4,000ℓ)	4年 12月 サイレン吹鳴装置設置 (温泉・兜沼地区)	4年 7月 北海道消防操法訓練大会小型ポ ンプの部に第1分団出場
	5年 3月 水槽付消防ポンプ自動車配置 「さくら号」 (防衛庁補助事業 水 4,000ℓ)	5年 5月 人員搬送車配置9人乗り (山谷佐栄次氏 一部寄贈)	
	6年 2月 消防ポンプ自動車配置「北斗号」 (消防防災設備整備費補助事業)	5年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	
	6年 11月 第3分団庁舎新築 146.10㎡ 第14分団庁舎新築 34.02㎡	6年 3月 サイレン吹鳴遠隔装置設置 (1町内・5町内)	6年 3月 消防ポンプ自動車配置「鬼竜」 (防衛施設周辺民生安定施設整備事業)
	6年 12月 梯子付消防自動車配置 (40m級「天翔」) 第11分団庁舎新築 80.19㎡	6年 11月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)	6年 5月 狩別林野火災
	8年 3月 消防本部広報車配置	6年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	6年 7月 宗谷管内水防訓練 (猿払川新富士見町)
	8年 8月 救助隊潜水班運用開始	7年 3月 サイレン吹鳴遠隔装置設置 (3町内・4町内・稚咲内)	6年 9月 第2分団サイレン塔改築
	8年 11月 抜海地区で火災発生 8棟 1,249㎡焼失	7年 7月 女性消防団結成 (10名)	7年 9月 第6分団サイレン塔新築 コンクリート制 13m
	8年 12月 高規格救急車配置	7年 12月 酪農地域消火栓設置 20基	7年 10月 第6分団資機材車配置
		8年 3月 サイレン吹鳴装置設置 (1町内・5町内)	8年 2月 第6分団庁舎新築 55.71㎡
	8年 7月 北海道消防操法大会に (小型ポン プ) 第1分団出場	8年 10月 女性消防団結成(10名)	
	8年 7月 消火栓設置 (4町内)		
	9年 5月 庁舎事務室拡張工事(28㎡)	9年 12月 支署庁舎新築 鉄骨コンクリート2階建 1,417.43	
	9年 10月 梯子自動車配置(15m級)	10年 10月 消防緊急通信指令装置	
10年 5月 声間サラキトマナイ地区林野火 災発生 1,000a 焼失	9年 12月 防火水槽設置 (1町内 2基 4町内 1基)	10年 12月 第5分団庁舎新築 67.5㎡	
10年 11月 消防コミュニティ庁舎改築 鉄骨鉄筋コンクリート地下1階 地上2階建 2,980.90㎡ 消防緊急通信指令システム 訓練塔・地下1階地上7階 (潜水訓練用水槽 深さ8m)	10年 11月 救助工作車配置(損保協会寄贈)	10年 12月 高規格救急車配置	
10年 12月 水難用ボート・資機材車配置	10年 11月 消火栓設置(1町内 1基)		
	10年 12月 防火水槽設置 (3町内 2基 5町内 1基)	11年 8月 消火栓設置(浅茅野台地他 4基) 防火水槽設置 (地来別 1基)	
	11年 10月 消火栓設置(5町内 1基)		
	11年 11月 防火水槽設置 (1町内 1基 5町内 1基)		

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
平成時代	12年6月 救助工作車配置 (電源照明付「飛龍」)	12年2月 防火水槽移設設置 (2町内1基)	12年10月 消火栓設置 (浅茅野他10基)
	12年10月 第13分団庁舎改築 97.2㎡	12年6月 指令車配置	13年3月 防火水槽設置 (鬼志別3基)
	13年7月 恵比須2 北出張所廃止	12年12月 消火栓設置 (5町内1基)	13年10月 消火栓設置 (浅茅野台地2基・狩別1基)
	14年6月 稚内市中央2地区大火 31棟焼失 焼失面積 8,845㎡ 損害額 約16億4,100万円	13年10月 消防ポンプ自動車配置 (CDII型)	15年10月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)
	15年12月 消防ポンプ自動車配置「銀竜号」	14年11月 消火栓設置 (5町内1基)	16年8月 消火栓設置 (鬼志別2基)
	17年8月 北海道防災総合訓練 末広4丁目天北第2埠頭 参加機関24機関 参加人員1,200名	15年11月 消火栓設置 (5町内1基)	17年8月 消火栓設置 (鬼志別1基・浜鬼志別1基)
	17年10月 2B型救急車寄贈配置 (全国共済連)	16年3月 消防ポンプ自動車配置 (CDI型)	18年5月 浅茅野台地林野火災 1,434a 焼失
	18年11月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 東浦・宗谷岬地区住民183 世帯 623人に避難指示声問～ 珊内・ノシャツプ～坂ノ下地区 住民 829世帯 1,998人に避 難勧告発令、被害なし	16年12月 高規格救急車配置	18年8月 消火栓設置 (知来別1基・浜鬼志別1基)
	19年1月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 避難勧告発令 東浦地区 住民7世帯23人・宗谷地区住 民45人・車両100台避難 被 害なし	17年8月 消火栓設置 (4町内1基)	18年9月 豊里地区 (1024林班) 行方不明 者捜索活動展開
		18年12月 支署事務所増築 鉄骨コンクリート造り 2階建 422.1㎡	18年11月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 知来別・浜鬼志別・芦 野・浜猿払地区住民 374世帯 1,125人に避難指示発令、被害 なし
		20年4月 第1分団第2分団統合 2ヶ分団 制とする	19年1月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 知来別・浜鬼志別・芦 野・浜猿払地区住民 377世帯 1,141人に避難指示発令、被害 なし
		20年7月 北海道消防操法大会に (小型ポン プ) 第1分団出場	19年7月 浜猿払草地火災 549a 焼失
	21年8月 40m はしご車オーバーホール	20年10月 消火栓取替設置 (22基)	19年7月 消火栓設置 (浜猿払・浅茅野台 地各1基)
		21年7月 消火栓設置 (5町内1基) 消火栓取替設置 (19基)	20年8月 消火栓設置 (浜猿払村・浜鬼志 別各1基)
		21年11月 第2分団庁舎改築	22年3月 第6分団廃止 7ヶ分団制とする

組織系統図

Gはグループ制を示す

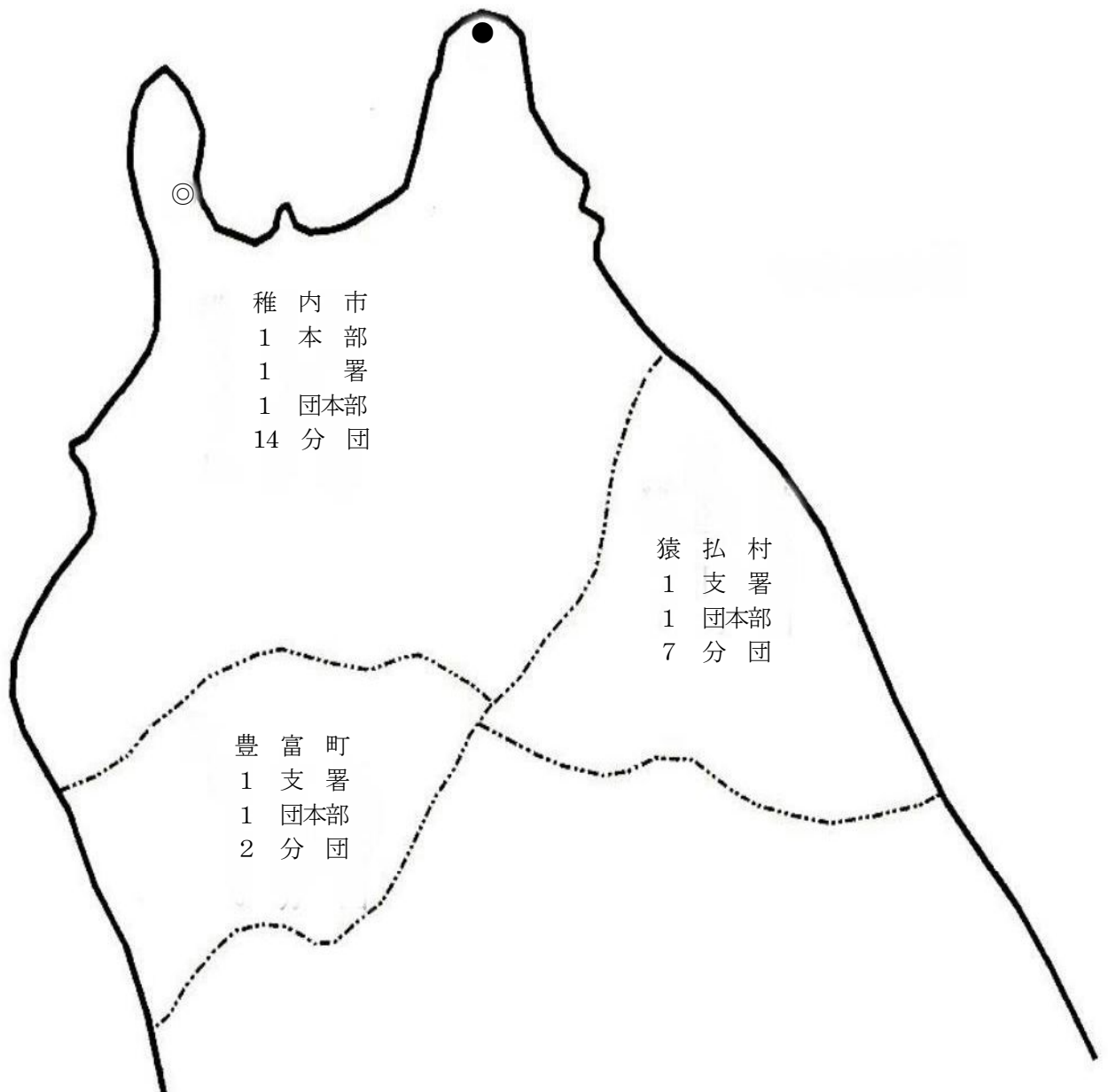


人口と面積

区 分	人 口	世 帯 数	面 積
稚 内 市	38,857 人	18,909 世帯	797.36 Km ²
豊 富 町	4,454 人	2,028 世帯	520.67 Km ²
猿 払 村	2,791 人	1,130 世帯	590.00 Km ²
計	46,102 人	22,067 世帯	1,908.03 Km ²

消 防 配 置

日本最北端 (北緯 45 度 31 分 20 秒)
宗谷岬



平成 22 年度 一般会計予算

(歳 入)

単位：千円

款	稚内市 (本部・署)	豊富町 (支署)	猿払村 (支署)	計
分担金及負担金	677,035	174,147	232,987	1,084,169
使用料及手数料	1,220	0	0	1,220
繰越金	1	0	0	1
諸収入	351	0	0	351
合計	678,607	174,147	232,987	1,085,741

(歳 出)

単位：千円

款	稚内市 (本部・署)	豊富町 (支署)	猿払村 (支署)	計
議会費	373	72	52	497
総務費	63,175	12,214	8,844	84,233
消防費	562,437	161,832	211,501	935,770
公債費	52,472	0	12,569	65,041
予備費	150	29	21	200
合計	678,607	174,147	232,987	1,085,741

住 民 と 消 防 比 較

			住民1人当り	住民1世帯当り
消防費	事務組合	935,770 千円	20,298 円	42,406 円
	稚内市	562,437 千円	14,475 円	29,744 円
	豊富町	161,832 千円	36,334 円	79,799 円
	猿払村	211,501 千円	75,780 円	187,169 円
消防職員 1名に対し	事務組合 100名	面積	住民	世帯
		19.08 k m ²	461名	221世帯
	稚内市 64名	12.46 k m ²	607名	295世帯
	豊富町 20名	26.03 k m ²	223名	101世帯
	猿払村 16名	36.88 k m ²	174名	71世帯
消防団員 1名に対し	事務組合 481名	面積	住民	世帯
		3.97 k m ²	96名	46世帯
	稚内市 285名	2.80 k m ²	136名	66世帯
	豊富町 75名	6.94 k m ²	59名	27世帯
	猿払村 121名	4.88 k m ²	23名	9世帯
消防ポンプ 自動車 1台に対し	事務組合 10台	面積	住民	世帯
		190.80 k m ²	4,610名	2,027世帯
	稚内市 4台	199.34 k m ²	9,714名	4,727世帯
	豊富町 4台	130.17 k m ²	1,114名	507世帯
猿払村 2台	295.00 k m ²	1,396名	565世帯	

◎ 稚内市
消防長

歴 代 役 員

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	森 円次郎	昭 和 24 年 4 月	7 代	川森 弘	平 成 元 年 4 月
2 代	前田 義範	昭 和 41 年 11 月	8 代	岩渕 穰	平 成 3 年 8 月
組合初代	石岡 一男	昭 和 48 年 4 月 (事務取扱)	9 代	高野 徳七	平 成 7 年 1 月
			10 代	為安 興一	平 成 9 年 4 月
2 代	山口 登志逸	昭 和 48 年 5 月	11 代	小澤 諭	平 成 11 年 4 月
3 代	松村 幸太朗	昭 和 53 年 5 月	12 代	石川 勝	平 成 14 年 4 月
4 代	矢口 一寿	昭 和 55 年 4 月	13 代	雄谷 林雄	平 成 16 年 4 月
5 代	葛西 孝	昭 和 56 年 4 月	14 代	福田 眞史	平 成 19 年 5 月
6 代	三関 正義	昭 和 60 年 4 月	15 代	藤原 幸男	平 成 22 年 4 月

消防署長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	櫻田 六郎	昭 和 24 年 9 月	5 代	谷口 勇	昭 和 58 年 7 月
2 代	門間 喜市	昭 和 42 年 4 月	6 代	日下 留蔵	昭 和 63 年 4 月
3 代	鈴木 保祐	昭 和 44 年 4 月	7 代	高野 徳七	平 成 6 年 4 月
4 代	福田 隆己	昭 和 46 年 4 月	8 代	橋本 務	平 成 7 年 1 月
5 代 組合初代	泉 次郎	昭 和 47 年 10 月	9 代	小沢 諭	平 成 9 年 4 月
		昭 和 48 年 4 月	10 代	高橋 勝	平 成 11 年 4 月
2 代	山口 忠雄	昭 和 51 年 3 月	11 代	飯田 繁樹	平 成 14 年 4 月
3 代	成田 孟司	昭 和 52 年 7 月	12 代	藤原 幸男	平 成 21 年 4 月
4 代	山口 勝見	昭 和 57 年 4 月	13 代	薄田 嘉継	平 成 22 年 4 月

組 頭

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	鈴木 留吉	明 治 23 年 4 月	6 代	松本 徳太郎	大 正 7 年 月
2 代	山本 竹次郎	明 治 27 年 4 月	7 代	矢田 栄太郎	大 正 8 年 月
3 代	飯田 吉次郎	明 治 32 年 月	8 代	井上 時次郎	大 正 14 年 2 月
4 代	永田 和吉	明 治 41 年 月	9 代	田渕 太七	昭 和 5 年 3 月
5 代	若林 和吉	大 正 6 年 月	10 代	中沢 浩一郎	昭 和 10 年 3 月

警防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	中沢 浩一郎	昭 和 14 年 4 月	2 代	森 円次郎	昭 和 20 年 10 月

消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	森 円次郎	昭 和 23 年 4 月	4 代	山本 寿夫	昭 和 56 年 6 月
2 代	前田 義範	昭 和 29 年 1 月	5 代	出村 勝信	昭 和 59 年 5 月
3 代	菅野 栄二	昭 和 41 年 11 月	6 代	岡田 清	平 成 3 年 7 月
組合初代	前田 義範	昭 和 48 年 4 月	7 代	松岡 勇	平 成 9 年 9 月
2 代	菅野 栄二	昭 和 51 年 4 月	8 代	伊戸川 久	平 成 17 年 4 月
3 代	森 外喜雄	昭 和 54 年 4 月	9 代	能任 清志	平 成 20 年 4 月

◎ 豊富町

消防長

歴 代 役 員

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	相馬 惣三郎	昭和 22 年 12 月	3 代	谷内 芳則	昭和 30 年 10 月
2 代	林 彦次郎	昭和 27 年 5 月	4 代	徳野 保	昭和 34 年 9 月

組 頭

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
豊 富	渡辺 清吾	大正 14 年 10 月	日 曹	小畑 常三郎	昭和 13 年 8 月
兜 沼	鈴木 広吉	昭和 4 年 5 月			

警防団長

豊 富

兜 沼

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	広田 宇平	昭和 14 年 4 月	初 代	桶川 駒吉	昭和 14 年 4 月
2 代	対馬 誠	昭和 16 年 8 月	2 代	阿部 健吉	昭和 22 年 8 月
3 代	渡辺 清吾	昭和 18 年 5 月	日 曹		
		昭和 22 年 12 月		氏 名	就 任 年 月 日
			初 代	藪内 正明	昭和 14 年 4 月
			2 代	藤田 安之丞	昭和 18 年 5 月
			3 代	宮崎 武年	昭和 21 年 9 月
					昭和 22 年 12 月

消防団長

豊 富

兜 沼

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	石川 長三郎	昭和 22 年 12 月	初 代	松前 松男	昭和 22 年 12 月
2 代	赤松 鉄造	昭和 26 年 12 月	2 代	阿部 健吉	昭和 24 年 6 月
3 代	徳野 保	昭和 30 年 9 月	3 代	鈴木 宗一	昭和 32 年 12 月
4 代	古市 一雄	昭和 34 年 9 月			昭和 42 年 10 月
5 代 組合初代	佐々木 一郎	昭和 42 年 12 月	日 曹		
		昭和 48 年 4 月		氏 名	就 任 年 月 日
2 代	石川 茂敏	平成 2 年 4 月	初 代	中井 清九郎	昭和 22 年 12 月
3 代	林 繁夫	平成 6 年 4 月	2 代	佐々木 一郎	昭和 42 年 12 月
4 代	小川 茂雄	平成 12 年 10 月			
5 代	細川 正明	平成 13 年 4 月			
6 代	古市 紀光	平成 20 年 4 月			

警防団長

	氏 名	就 任 年 月 日
初 代	林 清	昭和 14 年 4 月

◎ 猿払村

組 頭 不明

消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	塚越 峻	昭和 22 年 8 月	2 代	船木 武良	昭和 61 年 10 月
2 代	岩木 喜市	昭和 37 年 4 月	3 代	西口 誠一	平成 10 年 5 月
3 代 組合初代	河口 栄太郎	昭和 42 年 8 月	4 代	水口 孝一	平成 15 年 4 月
		昭和 48 年 4 月	5 代	長原 寅悦	平成 22 年 4 月

稚内市地区消防事務組合議会 歴代議長・副議長

議長	氏名	就任年月日	副議長	氏名	就任年月日
		遠藤 善見		昭和 48 年 4 月 2 日	
	森 武義	昭和 50 年 5 月 16 日		庄野 信雄	昭和 48 年 7 月 19 日
	長谷 俊司	昭和 54 年 5 月 15 日		中尾 武雄	昭和 50 年 5 月 16 日
	橋本 岩一	昭和 57 年 9 月 30 日		高谷 定雄	昭和 54 年 5 月 15 日
	矢木 護	昭和 58 年 5 月 19 日		打田 豊造	昭和 58 年 5 月 19 日
	杉本 鯉一	昭和 62 年 5 月 15 日		葛西 俊成	昭和 62 年 5 月 15 日
	太田 外政	平成 3 年 5 月 15 日		嘉納 直久	平成 3 年 5 月 15 日
	竹村 海一	平成 5 年 5 月 11 日		黒田 宏次	平成 7 年 6 月 2 日
	菅原 清治	平成 7 年 6 月 2 日		梶原 幸喜	平成 11 年 6 月 4 日
	山田 繁春	平成 11 年 6 月 4 日		打田 壽男	平成 15 年 6 月 4 日
	魚住 光信	平成 13 年 7 月 9 日		多々良 勝 平成 19 年 6 月 11 日 (現在)	
	藤谷 良幸	平成 15 年 6 月 4 日			
	田森 和文	平成 19 年 6 月 11 日			
	河合 武久	平成 21 年 7 月 14 日 (現在)			

消防職員定数・実数

区分	階級	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
	定員	階級別定数なし								
実数		1	1	8	23	42	13	12		100

消防団員定数・実数

区分	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員		計
	定員		3	8	24	25	46	96	343	
実数		3	8	24	25	44	92	284		480

消防職員配置

区分	階級	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
	消防本部	消防長	1							
総務課				1	1	1	1			4
予防課				1	1	2				4
消防署	署長		1							1
	警防第1課			1	6	13	4	3		27
	警防第2課			1	6	14	2	4		27
支署	豊富支署			2	4	6	4	4		20
	猿払支署			2	5	6	2	1		16
計		1	1	8	23	42	13	12		100

消 防 職 員 年 令 別

階級 区分	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他 の職員	計
20才未満							2		2
20才～25才未満							9		9
25才～30才未満					3	11	1		15
30才～35才未満					17	1			18
35才～40才未満				4	18				22
40才～45才未満				3					3
45才～50才未満				5	1				6
50才～55才未満				4	2				6
55才以上	1	1	8	7	1	1			19
計	1	1	8	23	42	13	12		100
平均年令(才ヶ月)	60.03	57.06	58.01	48.12	36.01	30.02	21.10		38.10

消 防 職 員 勤 続 年 数

階級 区分	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他 の職員	計
1年未満			2	1			4		7
1年以上5年未満				1	1	1	7		10
5年以上10年未満					1	12	1		14
10年以上15年未満					15				15
15年以上20年未満				7	20				27
20年以上25年未満				2	4				6
25年以上30年未満				3	1				4
30年以上35年未満			1	5					6
35年以上40年未満		1	4	4					9
40年以上	1		1						2
計	1	1	8	23	42	13	12		100
平均勤続(年ヶ月)	41.09	38.09	28.04	24.12	15.07	8.04	2.06		16.09

消 防 団 員 配 置

区分		階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
内 市	団 本 部		1	4	1					6
	女 子 団					1	1	3	11	16
	第1分団 (市 内)				1	1	3	5	11	21
	第2分団 (市 内)				1	1	3	5	11	21
	第3分団 (市 内)				1	1	3	5	14	24
	第4分団 (声 間)				1	1	2	4	10	18
	第5分団 (沼 川)				1	1	3	6	22	33
	第6分団 (抜 海)				1	1	1	2	7	12
	第7分団 (勇 知)				1	1	3	5	12	22
	第8分団 (西稚内)				1	1	1	2	6	11
	第9分団 (曲 渚)				1	1	1	1	6	10
	第10分団 (宗 谷)				1	1	2	4	12	20
	第11分団 (富 磯)				1	1	2	4	12	20
	第12分団 (宗谷岬)				1	1	3	5	15	25
	第13分団 (恵 北)				1	1	1	2	6	11
第14分団 (東 浦)				1	1	1	2	10	15	
	小 計		1	4	15	15	30	55	165	285
豊 富 町	団 本 部		1	2						3
	第1分団 (市 街)				1	1	4	5	42	53
	第2分団 (兜 沼)				1	1	2	3	11	18
	小 計		1	2	2	2	6	8	53	74
猿 払 村	団 本 部		1	2						3
	女 子 団						1	2	5	8
	第1分団 (鬼志別)				1	2	1	4	13	21
	第2分団 (知来別)				1	1	1	4	10	17
	第3分団 (浜鬼志別)				1	1	1	4	10	17
	第4分団 (浜猿払)				1	1	1	3	11	17
	第5分団 (浅茅野)				1	1	1	4	8	15
	第7分団 (芦 野)				1	1	1	4	6	13
第8分団 (猿 払)				1	1	1	4	3	10	
	小 計		1	2	7	8	8	29	66	121
	合 計		3	8	24	25	44	92	284	480

消防学校入校状況

区分	科 課程 名	18年	19年	20年	21年	22年	
	救 急 救 命 士			1	3	1	
消 防 職 員 教 育	初 任 教 育	1	2	1	3	4	
	専 科 教 育	警 防 科					
		無 線 通 信 課 程					
		予 防 査 察 科				2	
		危 険 物 科					
		火 災 調 査 科					2
		救 急 科	3	2	2	5	2
	幹 部 教 育	救 助 科	2	2			1
		新 任 消 防 長 研 修			1		
	特 別 教 育	幹 部 科		1			2
		ポンプ操法指導員課程			1		
		気 管 挿 管 課 程	1	2	1		1
		気 管 挿 管 再 認 定 講 習					2
		薬 剤 投 与 課 程			1	2	1
		薬 剤 投 与 講 習 追 加 講 習				2	1
計		7	9	8	17	17	
団員教育	基 礎 教 育	1	1				
	幹 部 教 育	1	1	1	1	1	
	訓 練 礼 式 指 導 員 課 程						
計		2	2	1	1	1	

消防職員各種免許修得状況

区分	階級							
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
自動車普通免許証			3		1	2	11	20
自動車普通免許証2種								
自動車大型免許証	1	1	4	21	39	8	4	78
自動車大型免許証2種			1	1		1		3
自動車大型特殊免許証	1	1	6	13	19	3	4	47
特殊無線技士 1級・2級			3	6	6	3		18
アマチュア無線				2	1	1		4
消防設備士				2	1	3		6
消防設備点検資格者				1	1	1		3
危険物取扱者 甲乙丙種			2	10	12	4	8	36
ボイラー2級免状取扱修了者			1	1			1	3
衛生管理者				1	1			2
ガス溶接士			3	5	3	3	1	15
高圧ガス販売主任者				1				1
3級ガソリン整備士				1				1
玉掛技能取扱者	1	1	4	16	24	4	1	51
移動クレーン取扱者	1	1	5	16	24	4		51
2級小型船舶操縦者			1	8	15	1		25
車両建設機械修了者			4	12	17	2	2	37
銃砲取扱者				4	17	7		28
潜水士				6	13	2		21
第1種酸素欠乏主任者				5	1	1		7
第2種酸素欠乏主任者				4				4
特別管理産業廃棄物管理責任者			1	2				3
計	4	4	38	140	195	51	32	464

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
消防本部 消防署 消防団本部	港5丁目1-37	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上 2階建	延 2,980.90 m ²	平成 10 年 11 月
山頂局舎	ヤムワッカナイ	鉄筋コンクリート	延 7.29 m ²	平成 2 年 3 月
第1分団	中央4丁目2-4	鉄筋ブロック 3階建	延 336.16 m ²	昭和 41 年 6 月
第2分団	宝来1丁目5-28	木造モルタル 2階建	延 189.13 m ²	昭和 53 年 12 月
第3分団	朝日1丁目	木造サイディング平家建	延 146.10 m ²	平成 6 年 11 月
第4分団	声間	木造モルタル平家建	延 72.90 m ²	昭和 49 年 3 月
第5分団	沼川3条南1丁目	木造モルタル平家建 木造モルタル平家建	延 168.48 m ²	昭和 47 年 11 月 増 昭和 53 年 5 月
第6分団	抜海	木造モルタル平家建	延 34.02 m ²	昭和 53 年 11 月
第7分団	上勇知15線	木造モルタル平家建	延 72.90 m ²	昭和 57 年 7 月
第8分団	富士見5丁目	木造モルタル平家建	延 58.32 m ²	昭和 50 年 11 月
第9分団	曲渕	防火サイディング平家建	延 69.66 m ²	平成 4 年 8 月
第10分団	宗谷173番地	木造モルタル平家建	延 72.90 m ²	昭和 54 年 6 月
	第2清浜	木造サイディング平家建	延 38.88 m ²	平成 1 年 10 月
第11分団	富磯	木造サイディング2階建	延 80.19 m ²	平成 6 年 12 月
第12分団	大岬74番地	木造モルタル平家建	延 72.90 m ²	昭和 53 年 7 月
第13分団	恵北	木造サイディング平家建	延 97.20 m ²	平成 12 年 10 月
第14分団	東浦	木造サイディング平家建	延 34.02 m ²	平成 6 年 11 月

◎ 豊富町

消 防 用 庁 舎

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
豊富支署	東1条7丁目	鉄骨コンクリート 2階建	421.1 m ²	増 平成 18年 12月
第1分団		鉄筋ブロック一部 2階建	延 419.2 m ²	増 昭和 48年 5月 昭和 60年 11月
	温 泉	ブロック造平屋建	延 80.0 m ²	昭和 60年 9月
第2分団	兜 沼	木造モルタル	延 106.92 m ²	昭和 51年 11月 増 昭和 62年 7月

◎ 猿払村

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
猿払支署	鬼志別南町1番地	鉄骨コンクリート 2階建	延 1,417.43 m ²	平成 9年 12月
第1分団				
第2分団	知来別 36番地	木造モルタル平家建	延 69.56 m ²	昭和 40年 7月 増 昭和 62年 8月
第3分団	浜鬼志別 1644番1	木造モルタル平家建	延 64.59 m ²	昭和 49年 10月 増 昭和 63年 7月
第4分団	浜猿払 1070番地1	木造サイディング平家建	延 81.00 m ²	平成 3年 12月
第5分団	浅茅野 336番地6	木造平家建	延 65.84 m ²	平成 10年 12月
第7分団	芦 野 175番地17	木造サイディング平家建	延 81.00 m ²	平成 3年 12月
第8分団	猿 払 127番地1	セラミックブロック平屋	延 40.34 m ²	昭和 57年 12月

◎ 稚内市

消 防 車 両 の 現 状

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
消防 本部	指揮車	日 産	平成 04-07	18-05	4,160				有	広報装置
	広報車	日 産	平成 08-02	14-10	1,990				有	広報装置
消 防 署	指令車	トヨタ	平成 13-07	09-05	2,980				有	広報装置
	救急車	トヨタ	平成 17-09	05-03	3,370				有	2B型
	救急車	イスズ	平成 08-12	14-00	4,570				有	高規格救急車
	銀 竜	日 野	平成 15-12	07-00	7,960	タービン	A2		有	可般動力積載
	北 斗	日 野	平成 06-02	16-10	7,410	タービン	A2		有	可般動力積載
	さくら	日 産	平成 05-03	17-09	13,260	タービン高圧ポンプ付	A2	水 4,000ℓ	有	広報装置
	双 竜	日 野	平成 03-02	19-10	13,260	タービン高圧ポンプ付	A2	水 3,000ℓ 薬剤 500ℓ	有	広報装置 化Ⅱ型
	大 竜	日 野	昭和 61-09	24-03	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載
	飛 竜	日 野	平成 12-06	10-06	13,260				有	救助工作車 電源照明クレーン付
	宝 竜	三 菱	昭和 59-10	26-02	14,880	タービン	A2		有	25m級 3 節屈折車
	天 翔	日 野	平成 06-11	16-01	17,230				有	40m級梯子車
	資機材車	イスズ	平成 10-12	12-00	4,980				有	
金 龍	イスズ	昭和 63-08	22-04	6,490	タービン	A1	水 2,000ℓ	有	広報装置	

◎ 豊富町

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
豊 富 支 署	指令車	トヨタ	平成 12-05	10-08	3,000				有	広報装置
	救急車	トヨタ	平成 06-10	16-03	2,890				有	2B型
	タンク	日 野	昭和 62-10	23-03	16,360	タービン	A2	水 3,000ℓ	有	広報装置
	水槽車	日 野	昭和 60-09	25-03	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載
	救工車	日 野	平成 10-10	12-03	7,960				有	電源照明クレーン付
	梯子車	イスズ	平成 09-10	13-03	8,220	タービン	A2	水 700ℓ	有	15m級梯子車
	救急車	トヨタ	平成 16-12	06-00	3,370				有	高規格救急車

◎ 猿払村

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
猿 払 支 署	指令車	トヨタ	平成 04-07	18-06	4,160				有	広報装置
	救急車	イスズ	平成 10-12	12-01	4,570				有	高規格救急車
	救急車	トヨタ	平成 15-10	07-03	3,400				有	2B型
	タンク	日 野	平成 01-11	21-02	13,260		A2	水 3,000ℓ	有	広報装置
	水槽車	日 野	昭和 59-09	26-04	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載

◎ 稚内市

消 防 団 車 両 の 現 状

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	備考	
消 防 団	団本部	連絡車	トヨタ ハイエース	平成14-04	08-08	2,690	
	第1分団	積載車	ニッサン アトラス	平成15-10	07-02	3,150	広報装置可般動力
	第2分団	積載車	トヨタ ダイナ	平成20-12	02-00	2,980	広報装置可般動力
	第3分団	積載車	トヨタ ダイナ	平成14-07	08-05	2,980	広報装置可般動力
	第4分団	積載車	ニッサン アトラス	平成07-09	15-03	2,660	広報装置可般動力
	第5分団	積載車	ニッサン アトラス	平成05-09	17-03	2,660	広報装置可般動力
	第6分団	積載車	ニッサン アトラス	平成06-09	16-03	2,660	広報装置可般動力
	第7分団	積載車	ニッサン アトラス	平成08-09	14-03	2,660	広報装置可般動力
	第8分団	積載車	ニッサン アトラス	平成13-08	09-04	3,150	広報装置可般動力
	第9分団	積載車	ニッサン アトラス	平成13-08	09-04	3,150	広報装置可般動力
	第10分団	積載車	ニッサン アトラス	平成05-09	17-03	2,660	広報装置可般動力
		積載車	ニッサン アトラス	平成03-10	19-02	2,660	広報装置可般動力
	第11分団	積載車	ニッサン アトラス	平成06-09	16-03	2,660	広報装置可般動力
	第12分団	積載車	ニッサン アトラス	平成07-09	15-03	2,660	広報装置可般動力
第13分団	積載車	ニッサン アトラス	平成08-09	14-03	2,660	広報装置可般動力	
第14分団	積載車	ニッサン アトラス	平成04-12	18-00	2,660	広報装置可般動力	

◎ 豊富町

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	ポンプ型式	級	無線	備考	
消 防 団	第1分団	人員搬送車	トヨタ	平成05-05	17-08	2,770			有	広報装置
		ポンプ車	日野	平成16-03	06-09	4,880	タービン	A2	有	広報装置
		ポンプ車	日野	平成13-10	09-03	7,960	タービン	A2	有	広報装置
		積載車	トヨタ ダイナ	平成04-08	18-05	3,660	トーハツ	B2	有	広報装置可般動力
		人員搬送車	トヨタ	平成22-09	00-03	2,980			有	広報装置可般動力
第2分団	ポンプ車	トヨタダイナ	昭和63-08	22-05	3,430	タービン	A2	有	広報装置可般動力	

◎ 猿払村

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	ポンプ型式	級	無線	備考	
消 防 団	第1分団	ポンプ車	日野ジープ	平成06-03	16-10	7,410	タービン	A2	有	
	第2分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-11	19-02	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第3分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-11	19-02	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第4分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	19-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第5分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	19-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第6分団	資機材車	三菱キャンタ	平成07-10	15-03	4,210	シパウラ	B3	有	可般動動力
	第7分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	19-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第8分団	積載車	三菱キャンタ	平成02-10	20-04	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力

区 分	名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管			
消防署	トーハツ	52	B2	1	平成 09-04	12-09	50mm	47	計 393本	
	トーハツ	20	B3	1	平成 06-02	16-10				
	トーハツ	20	B3	1	平成 15-12	07-00	高圧 7・水膜 6		計 13本	
消 防 団	第1分団	トーハツ	62	B2	1	平成 15-11	07-01	50mm	41	計 55本
		シバウラ	46	B2	1	平成 11-07	11-05	65mm	14	
	第2分団	トーハツ	46	B3	1	平成 20-12	02-00	50mm	28	
		トーハツ	33	B3	1	平成 01-07	21-05	65mm	4	計 32本
	第3分団	トーハツ	40	B3	1	平成 14-07	08-05	50mm	22	
		トーハツ	33	B3	1	昭和 57-09	28-03	65mm	26	計 48本
	第4分団	トーハツ	38	B3	1	平成 07-10	15-02			
		トーハツ	33	B3	1	平成 03-11	19-01	65mm	21	計 21本
	第5分団	トーハツ	30	B3	1	昭和 55-07	30-05	50mm	21	
		トーハツ	38	B3	1	平成 05-09	17-03	65mm	48	計 69本
	第6分団	トーハツ	30	B3	1	平成 06-10	16-02	50mm	25	
		トーハツ	40	B3	1	平成 17-09	05-03	65mm	21	計 46本
	第7分団	トーハツ	38	B3	1	平成 08-10	14-02	50mm	43	計 43本
	第8分団	トーハツ	40	B3	1	平成 13-09	09-03	65mm	31	計 31本
第9分団	トーハツ	33	B3	1	平成 02-07	20-05				
	トーハツ	40	B3	1	平成 13-09	09-03	65mm	40	計 40本	
第10分団	トーハツ	38	B3	1	平成 05-09	17-03				
	トーハツ	33	B3	1	昭和 61-09	24-03	65mm	24	計 24本	
第11分団	トーハツ	30	B3	1	平成 06-10	16-02	50mm	30	計 49本	
	トーハツ	30	B3	1	昭和 56-07	29-05	65mm	19		
第12分団	トーハツ	38	B3	1	平成 07-10	15-02				
	トーハツ	38	B3	1	昭和 57-07	28-05	65mm	30	計 30本	
第13分団	トーハツ	33	B3	1	昭和 58-09	27-03	50mm	8		
							65mm	31	計 39本	
第14分団	トーハツ	38	B3	1	昭和 63-09	22-03				
	トーハツ	38	B3	1	平成 04-12	18-00	65mm	24	計 24本	

◎ 豊富町

可 般 動 力 ・ 水 管 配 置

区 分	名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管
支 署	シバウラ	56	B2	1	平成 13-05	09-08	65mm 216
消 防 団	トーハツ	63	B2	1	平成 13-10	09-03	50mm 40 40mm 9 計 265本
	トーハツ	49	B2	1	平成 04-08	18-05	
	ラビット	60	B2	1	平成 02-11	20-02	
	トーハツ	49	B2	1	平成 04-08	18-05	
第 2 分団	ラビット	52	B2	1	昭和 61-07	24-06	65mm 43 計 43本

◎ 猿払村

区 分	名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管	
支 署	トーハツ	60	B2	1	平成 15-06	07-06	65mm 70	
	シバウラ	45	B3	1	平成 14-05	08-09	50mm 13 計 83本	
消 防 団	第 1 分団						65mm 51 計 51本	
	第 2 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-11	19-02	65mm 31 計 31本
	第 3 分団	シバウラ	34	B3	1	平成 21-03	01-09	65mm 31 計 31本
	第 4 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	19-01	65mm 31 計 31本
	第 5 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	19-01	65mm 30 計 30本
		シバウラ	40	B3	1	平成 07-10	15-03	65mm 30 計 30本
	第 7 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	19-01	65mm 30 計 30本
	第 8 分団	ラビット	32	B3	1	平成 02-10	20-03	65mm 30 計 30本